

第103回病診連携委員会要録

日時 令和5年2月27日（月）午後8時

配信方法 MicrosoftTeams

出席者 別紙

議題

1. 第102回病診連携委員会報告について

大要次のとおり。

各病院ともコロナ入院患者の重症例は減少傾向であった。年末年始のコロナ対策はフォローアップセンターからの受け入れやかかりつけ患者の受け入れには応じるが多かった。また、災害対策においてはBCPに則り、策定している病院が多かった。医師会との連携は今後の課題である。

また、大阪医療センターの松村院長より、現在中央区東医師会との連携基盤を作る予定である話があった。各病院のサイバーテロ対策では電子カルテとのネット接続はなく、適時バックアップをとっているところが多かった。USB/CDはチェック後限られた端末で利用されているとのことであった。

2. アンケート結果と今後の新型コロナ患者等入院受け入れに対する各病院のスタンスについて

今回17病院中16病院で回答があり、5類移行後の体制については、陽性でもブルーカード登録があれば積極的に受け入れるところが8機関、陰性であれば受け入れるところが3機関、現在検討中が5機関、未回答が1機関だった。検討中のところも5月までには受け入れ体制が整うところが多く、開業医にとっては心強い回答が多かった。

3. 各地区の行政および医師会との災害対策連携について

前回からの追記なし。

4. 大阪医療センターの新システムの進捗状況<大阪医療センター松村院長>

病院の電子カルテに直接アクセスして、患者情報を外に出すのは本部の許可が取れなかったため、現在ベンダーとモバイル端末で直接開業医とネット通信できる方法を模索中である。

5. ブルーカードシステムの更新について

(1) すべてネット上で完結するには？

今後、他地区のブルーカード参加を広げられるように、今までのシステムを申請登録から、クラウドに情報をアップするまで、すべてデジタルで行えるモデルの提案をした。

(2) ブルーカード2次連携システムの提案について

ブルーカード登録パネル、2次連携システム（1次登録の受け入れが、発熱、コロナ陽性などで困難なときに2次連携病院にて受け入れ可能かどうか確認、転送できる仕組み）の構築の提案。

(1)、(2)とも細部においては、後日メーリングリスト等で協議することが提案された。

6. ブルーカード登録数について

本日現在の登録件数	浪速区 506 件	他地区 55 件
本日現在の使用状況数（延べ）	浪速区 809 件	他地区 60 件

令和4年11月29日から本日までのカード動向				合計 79 件	
新規 36 件	更新 4 件	入院 3 件	他入院 0 件	帰宅 4 件	
中止 2 件	死亡 10 件	退院 0 件	連携入院 0 件	受入不可 0 件	
通院無 13 件	かかりつけ医変更 6 件		登病変 0 件	転院 1 件	

7. その他

有田会長より、本会 70 周年記念式典開催（令和 6 年 1 月 20 日（土）スイスホテル南海大阪）の広報があり、病診連携委員会のメンバーにも参加してもらおうよう呼びかけがあった。

令和 5 年度 会議開催予定 5 月 29 日・8 月 28 日・11 月 27 日・令和 6 年 2 月 26 日
すべて月曜日・開催場所は医師会（午後 7 時 45 分～）かWEB（午後 8 時～）のいずれかになります